

倫理プリント



孟子・荀子

儒教の展開



(i) 孟子の思想

孟子

■ 中国の鄒国(前372?~289?) ・主著 『孟子』



- ・孔子の死から 100 年後に生まれ、孔子の孫の門人として儒学を学ぶ
- ・仁の内容を重視し、思いやり・まごころに基づいた政治のあり方を説いた
- ・教育熱心(ヒステリック?)な母に育てられた **episode** 「孟母三遷の教え」「断機の教え」
- ・気性が荒く、墨子などの他の諸家を激しく批判。王に対しても上から目線で、関係が悪化することもあった。

■ 孟子の思想① [1] = 人間は生まれつき、善におもむこうとする性質をもつ説

人には生まれつき 4 つの善の芽が備わっている

- ・ [2]]の心…他人の不幸を見過ごせない心
- ・ [3]]の心…自分の不善を恥じ、悪事を憎む心
- ・ [4]]の心…人に謙虚で、譲ることができる心
- ・ [5]]の心…善悪や正否を判別する心

[6]]
誘惑を絶ち学び続ける
力強い精神力

それぞれの芽を育て習得

- ・ [7]]…思いやり
- ・ [8]]…正義感
- ・ [9]]…節度を守る
- ・ [10]]…道徳的分別

孟子は四徳の中でも、特に「仁」と「義」を重視した。

どんな困難でも四徳を実践する理想的人間 (= [11]]) になれると説いた。

+ α 五倫五常の教え

👤 董仲舒 : 前漢の儒者

五常の教え … 孟子が説いた四徳に「信」を加えた**五徳**と、**五倫の道**をともに説いたもので、儒教の重要な徳目となる

■ 孟子の思想② 人間らしくあるために、人間関係において守るべきことは？

上でまとめた四端を実践しつつ、五倫で示される人間関係の基本的な秩序を大切にすることを説いた。

[12]]の道 = ・ ・ ・

これを守れるのが、人間とその他の動物との違いだ！

Column 📖 **孟母三遷の教え** 紀元前四世紀、中国でのこと。後に偉大な学者となる孟子の一家は、最初は墓地のそばに住んでいましたが、幼い孟子が葬式のまねごとをするので、母はそれを嫌い、市場の近くに引っ越しました。ところが、今度は孟子が商人の駆け引きのまねをするようになり、また引っ越します。次の住まいは、学校のそば。孟子も学校で教えている礼儀作法や勉強をまねるようになったので、母は、これこそ教育に最適の場所だと考えて、引っ越すことはなかったということです。これは私達にも通じる話で、人間を作り上げる要素として、環境が与える影響は非常に大きいということ。これから皆さんがどんな環境で学ぶのか？ 選ぶ進路によって、将来の自分の姿は全く異なるものになるかもしれません。大事に考えてほしい。

Column ■ 断機の教え 学業を途中でやめてはならないという教え。「断機の戒め」ともいう。

孟子が子供の頃、勉学を途中でやめて帰ってきたことがあった。孟子の母はそのとき機織りをしていたが、「勉学はどこまで進みましたか」と聞いた。孟子が、「相変わらずです」と答えると、母は刀を手に取り、織っていた布を断ち切った。孟子は恐しくなって訳を尋ねた。母が言った。「あなたが学業をおろそかにすることは、わたしが布を断ち切ると同じ。君子は学ぶことで名を立て、問うことで知識を広めるのです。これにより、安らかに生活ができ、事が起こった際も被害を免れることができます。今、もし学業をやめてしまえば、卑しい労役に甘んずるしかなくなり、災いも免れないでしょう。これは、機織りで生計を立てているのに、途中でやめてしまうのと何も違わぬではないですか。」どのようにして、夫や子供に服を着せ、いつも食べ物を不足せぬようにするというのでしょうか。女が食べていくための仕事をやめてしまい、男が徳行を修めることを怠ったら、泥棒となるか、奴隷となるしかありません」

孟子は恐れて、一日中勉学に励むようになった。子思に師事し、ついに世に名を知られた儒者となった。

■ 孟子の思想③ どのように国を治めるべきか？

四徳の中で特に重視した仁義に基づき、人民のことを第一に考えた政治を理想とする

- ・ [13]]… 民衆の幸せの為に行う、人民本位の善政 **理想**
まずは王が徳を身につけ、人民へ教化すること(徳治主義)
産業の保護、税制の負担減などにより、人民の生活安定を最優先！
- ・ [14]]… 力によって民衆を支配し、民衆を不幸に陥れる政治 **否定**
王が徳を無視して、権力を振りかざす政治



もし霸道政治が実施されたら、民衆は不幸になるけど、五倫の徹底を目指せば王に反発することもできないんじゃないか…？
→ そんな悪政を行うものは君主と呼べるか？王として扱う必要はなく、武力で倒しても問題なし！
→ これこそ革命であり、新たな王が生まれる瞬間を積極的に肯定した = [15]

(ii) 荀子の思想

荀子

■ 中国の趙国(前298?~235?)

・主著 『荀子』



- ・ 礼の内容を重視し、集団の秩序に関する教えを説いた
- ・ 各地を遊説したのち教育に尽力。韓非子や李斯も荀子の門下として学んだ

■ 荀子の思想 [16]] = 人間は生まれつき悪であって、後天的な作為で善へ矯正される

善に向かわせる教育が必要！

理想の人物となるためには
人間の悪なる本質を抑圧し、善性を植え付ける努力が必要
習慣的に「礼」を重視し社会的規範を守ること、欲望を抑えられる
(例)挨拶をすべきだ、お年寄りを敬うべきだ、

礼により善性が身につく
=[17]

同じ儒家でありながら、孟子と荀子は反する部分が多い。性善説と性悪説、徳治主義と礼治主義など、混同しないように注意する。政治についても、荀子は天下安定のためならば霸道政治を正当化している。

倫理プリント



孟子・荀子

儒教の展開



(i) 孟子の思想

孟子

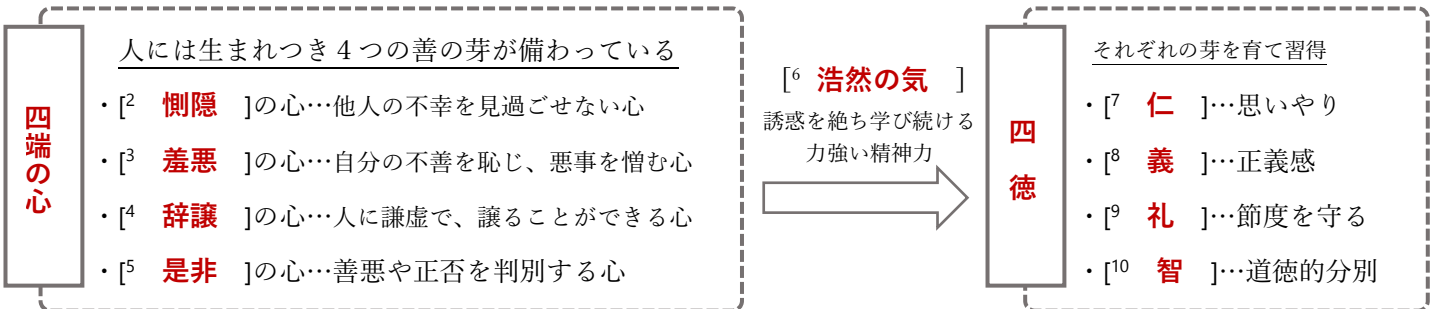
中国の鄒国(前372?~289?)

・主著 『孟子』



- ・孔子の死から 100 年後に生まれ、孔子の孫の門人として儒学を学ぶ
- ・仁の内容を重視し、思いやり・まごころに基づいた政治のあり方を説いた
- ・教育熱心(ヒステリック?)な母に育てられた **episode** 「孟母三遷の教え」「断機の教え」
- ・気性が荒く、墨子などの他の諸家を激しく批判。王に対しても上から目線で、関係が悪化することもあった。

■ 孟子の思想① [1 性善説] = 人間は生まれつき、善におもむこうとする性質をもつ説



孟子は四徳の中でも、特に「仁」と「義」を重視した。

どんな困難でも四徳を実践する理想的人間 (= [11 大丈夫]) になれると説いた。

+ α 五倫五常の教え

董仲舒 : 前漢の儒者

五常の教え … 孟子が説いた四徳に「信」を加えた**五徳**と、**五倫の道**をともに説いたもので、儒教の重要な徳目となる

■ 孟子の思想② 人間らしくあるために、人間関係において守るべきことは？

上でまとめた四端を実践しつつ、五倫で示される人間関係の基本的な秩序を大切にすることを説いた。

[12 五倫]の道 = 親子 ・ 君臣 ・ 夫婦 ・ 兄弟 ・ 盟友

これを守れるのが、人間とその他の動物との違いだ！

Column 孟母三遷の教え 紀元前四世紀、中国でのこと。後に偉大な学者となる孟子の一家は、最初は墓地のそばに住んでいましたが、幼い孟子が葬式のまねごとをするので、母はそれを嫌い、市場の近くに引っ越しました。ところが、今度は孟子が商人の駆け引きのまねをするようになり、また引っ越します。次の住まいは、学校のそば。孟子も学校で教えている礼儀作法や勉強をまねるようになったので、母は、これこそ教育に最適の場所だと考えて、引っ越すことはなかったということです。これは私達にも通じる話で、人間を作り上げる要素として、環境が与える影響は非常に大きいということ。これから皆さんがどんな環境で学ぶのか？ 選ぶ進路によって、将来の自分の姿は全く異なるものになるかもしれません。大事に考えてほしい。

Column ■ 断機の教え 学業を途中でやめてはならないという教え。「断機の戒め」ともいう。

孟子が子供の頃、勉学を途中でやめて帰ってきたことがあった。孟子の母はそのとき機織りをしていたが、「勉学はどこまで進みましたか」と聞いた。孟子が、「相変わらずです」と答えると、母は刀を手に取り、織っていた布を断ち切った。孟子は恐しくなって訳を尋ねた。母が言った。「あなたが学業をおろそかにすることは、わたしが布を断ち切ると同じ。君子は学ぶことで名を立て、問うことで知識を広めるのです。これにより、安らかに生活ができ、事が起こった際も被害を免れることができます。今、もし学業をやめてしまえば、卑しい労役に甘んずるしかなくなり、災いも免れないでしょう。これは、機織りで生計を立てているのに、途中でやめてしまうのと何も違わぬではないですか。」どのようにして、夫や子供に服を着せ、いつも食べ物を不足せぬようにするというのでしょうか。女が食べていくための仕事をやめてしまい、男が徳行を修めることを怠ったら、泥棒となるか、奴隷となるしかありません」

孟子は恐れて、一日中勉学に励むようになった。子思に師事し、ついに世に名を知られた儒者となった。

■ 孟子の思想③ どのように国を治めるべきか？

四徳の中で特に重視した仁義に基づき、人民のことを第一に考えた政治を理想とする

- ・ [13 **王道政治**] … 民衆の幸せの為に、人民本位の善政 **理想**
まず王が徳を身につけ、人民へ教化すること(徳治主義)
産業の保護、税制の負担減などにより、人民の生活安定を最優先！
- ・ [14 **霸道政治**] … 力によって民衆を支配し、民衆を不幸に陥れる政治 **否定**
王が徳を無視して、権力を振りかざす政治



もし霸道政治が実施されたら、民衆は不幸になるけど、五倫の徹底を目指せば王に反発することもできないんじゃないか…？
→ そんな悪政を行うものは君主と呼べるか？王として扱う必要はなく、武力で倒しても問題なし！
→ これこそ革命であり、新たな王が生まれる瞬間を積極的に肯定した = [15 **易姓革命**]

(ii) 荀子の思想

荀子

■ 中国の趙国(前298?~235?)

・ 主著 『荀子』



- ・ 礼の内容を重視し、集団の秩序に関する教えを説いた
- ・ 各地を遊説したのち教育に尽力。韓非子や李斯も荀子の門下として学んだ

■ 荀子の思想 [16 **性悪説**] = 人間は生まれつき悪であって、後天的な作為で善へ矯正される

善に向かわせる教育が必要！

理想の人物となるためには
人間の悪なる本質を抑圧し、善性を植え付ける努力が必要
習慣的に「礼」を重視し社会的規範を守ること、欲望を抑えられる
(例)挨拶をすべきだ、お年寄りを敬うべきだ、

礼により善性が身につく
=[17 **礼治主義**]

同じ儒家でありながら、孟子と荀子は反する部分が多い。性善説と性悪説、徳治主義と礼治主義など、混同しないように注意する。政治についても、荀子は天下安定のためならば霸道政治を正当化している。